

柴田選手NHK杯へ

体操 田辺工業高卒で初めて

東京都内でこのほどあった全日本体操個人総合選手権で、田辺工業高校出身の順天堂大学4年、柴田快輝選手(21)が20位に入り、6月のNHK杯への出場権を得た。体操の強豪として知られる同校だが、卒業生がNHK杯に出場するのは初めて。関係者は「長年の夢がかなった」と喜んでいる。



柴田快輝選手

選手権には男子で15歳、社会人の72人が出場。跳馬、平行棒、鉄棒、ゆか、あん馬、つり輪の6種目で得点を競った。ロンドン五輪個人総合金メダリストの内村航平選手が史上初の7連覇を達成した。昨年に続いて2度目の出場だった柴田選手は1日目の予

選を21位で通過。2日目の決勝では順位を一つ上げた。「多少のミスは出たが大きく崩れず、粘り強い演技ができた。昨年は予選落ちだったので、願いがかなってよかった。NHK杯は自分らしい演技をして、順位を上げたい」と意欲を見せている。

NHK杯に出場するのは、選手権で36位以内に入った選手だけ。別の大会で日本一になったり代表に選ばれたりしているも出られない選手もいる。柴田選手の父親で田辺工業体操監督の達也さん(48)は「強い選手がそろって大学でもまれていることが成長につながったのではないか。後輩にもよい刺激になる」と喜んでいる。順天堂大学からは柴田選手を含め6人がNHK杯に出場する。

選手権には、田辺工業3年の楠川雄太選手(17)も出場した。予選落ちだったが、高校生の出場は楠川選手を含め13人だった。「大学生や社会人の強さ、自分の未熟さを痛感した。学んだことを練習に生かし、次の試合につなげたい」と話している。

◇ 選手権の開催中、全日本体操種目別選手権(7月)の出場権を懸けたトライアルもあった。田辺工業出身で早稲田大学4年の嶋津尚弥選手(21)

が、あん馬で全体の15位に入り、出場権を得た。柴田選手は平行棒で16位、あん馬で18位になり、両種目で出場を決めた。